

情報システムプロジェクト 1

第 2 回目 計画進捗報告

19-xxx 氏名

2021 年 4 月 14 日

第 2 回目 計画進捗報告

計画

ここに第 2 回目の計画を書く。予定している作業内容と、その作業に必要と思われる時間を書く。プログラムの作成は、動作確認およびデバッグに必要な時間も見積もる。

この部分は第 1 回目の計画進捗報告で立てた計画をそのままコピーすればよい。

以下は計画の記入例である。(実習ノート p.23 記入例 参照) 報告書提出の際は以下の部分は削除すること。

2.2.2 FileScanner の作成

課題	作業内容	作業時間
問題 2.5	FileScanner の実装	45 分
	動作確認 (入力データ : bsort.k)	5 分
	デバッグ (必要なら)	20 分
問題 2.6	nextChar() の追加	15 分
	動作確認 (入力データ : bsort.k)	5 分
	デバッグ (必要なら)	10 分
問題 2.7	ScanAt() の追加	15 分
	動作確認のやり方を考える	10 分
	動作確認	5 分
	デバッグ (必要なら)	20 分
	時間が余ったら次回の予習をする	残り時間

進捗

ここに第 2 回目の進捗状況を書く。各作業の開始時刻・終了時刻を書く。また、プログラムの動作確認をした場合は後ろのテスト記録に書く。予定した作業が時間内で終わらなかった場合は、どこまでできたのか、どのような問題が残っているのか書くこと。

以下は進捗の記入例である。(実習ノート p.23 記入例 参照) 報告書提出の際は以下の部分は削除すること。

課題	作業内容	作業時刻
問題 2.5	FileScanner の実装	13:30-13:55
	動作確認 (入力データ : bsort.k)	13:55-14:00
問題 2.6	nextChar() の追加	14:00-14:10
	動作確認 (入力データ : bsort.k)	14:00-14:20
問題 2.7	ScanAt() の追加	14:20-15:00
	動作確認のやり方を考える	15:15-15:20
	main() に動作確認用の命令を加える	15:20-15:25
	動作確認	15:25-15:30
	FileScanner.java 提出	15:30-15:35
	次回の予習 (指導書を読む)	15:35-16:00

FileScanner.java テスト・デバッグ履歴

テスト履歴

日時	入力	テスト結果 (期待通りの結果の場合は簡潔に、問題があった場合は詳述すること)	バグ番号

デバッグ履歴

バグ番号	原因と修正内容

テスト履歴

ここにテスト履歴を書く。

以下はテスト履歴の記入例である。報告書提出の際は以下の部分は削除すること。

日時	入力	テスト結果 (期待通りの結果の場合は簡潔に、問題があった場合は詳述すること)	バグ番号
5/20 13:55	bsort.k	問題 2.5 のテスト : 何も出力されない	1
5/20 14:00	bsort.k	問題 2.5 のテスト : ファイル末まで表示したところでエラーが出る	2
5/20 14:00	bsort.k	問題 2.5 のテスト : OK	

デバッグ履歴

バグ番号	原因と修正内容
1	while 文の条件式が間違っており 1 回もループに入らずに終了していた
2	次の行の有無のチェックが抜けていた

第 3 回目 計画進捗報告

計画

ここに第 3 回目の計画を書く。予定している作業内容と、その作業に必要と思われる時間を書く。プログラムの作成は、動作確認およびデバッグに必要な時間も見積もる。

以下は計画の記入例である。(実習ノート p.23 記入例 参照)。報告書提出の際は以下の部分は削除すること。

2.3.1 VSM オペレータセットと 2.3.2 VarTable の作成

課題	作業内容	作業時間
問題 2.8	VSM の動作の図示	45 分
問題 2.9	VSM アセンブラへの変換	45 分
	VSM での動作確認	10 分
問題 2.10	Var.java の作成	10 分
	動作確認 (確認方法を書く)	5 分
	デバッグ (必要なら)	10 分
問題 2.11	VarTable.java の作成	10 分
	動作確認 (確認方法を書く)	5 分
	デバッグ (必要なら)	20 分
	時間が余ったら次回の予習をする	残り時間